

令和3年度第2回シンポジウム

令和3年度廃棄物処理システムにおける

脱炭素化に向けた普及促進方策に係る第2回シンポジウム

2021年12月27日
廃棄物資源循環学会
環境省

〔趣旨〕 2050年までのカーボンニュートラル達成に向けて、廃棄物分野では、一般廃棄物の焼却や埋立処分に伴う直接的な温室効果ガス排出量の削減のほか、収集運搬過程における燃料使用や、中間処理施設等の稼働に伴う電力使用等によるエネルギー起源CO₂等の排出量の削減等を総合的に講じていく対策が求められている。また、脱炭素化は、同時に第5次環境基本計画（平成30年4月閣議決定）で提唱された地域循環共生圏の創造と併せて進展していくことが必要である。

今後、プラスチック資源循環戦略に基づくマテリアルリサイクルの推進、製品素材の転換等に伴う廃棄物の質・量の大きな変化への対応を踏まえつつ、地域が目指すべき気候変動に対応した持続可能性を踏まえ、各地域の廃棄物エネルギーを最大限活用する自立・分散型の廃棄物処理システムの形成が有効である。すなわち、廃棄物処理施設が地域エネルギーセンターや防災拠点等の機能を併せ持つことで、廃棄物を地域資源とした地域循環共生圏を形成し、「気候変動×レジリエンス」及び地域循環共生圏の同時実現を可能とする。

以上の趣旨を踏まえ、廃棄物資源循環学会及び環境省では、廃棄物分野における脱炭素・持続可能性、地域循環共生圏形成をテーマにシンポジウムを開催することとした。

第2回シンポジウムでは、廃棄物管理分野における地域循環共生圏形成と脱炭素化に向けた挑戦において、バイオマス資源循環とプラスチック資源循環は両輪として機能することを踏まえ、このうちプラスチック資源循環を中心に3R+Renewableと処理脱炭素化への方策について、法制度面・技術面の両面からトピック的話題を取り上げ、広く関係者への情報共有を図ることを目的に開催する。

〔主催〕 環境省、廃棄物資源循環学会

〔日時〕 2022年1月20日（木）11:00～12:30（受付は10:40より開始）

〔会場〕 サンシティ佐賀5階Aホール 佐賀県佐賀市神野東2丁目1-3 サンシティビル

〔定員〕 オンライン方式：100名程度（事前申込み制）、自治体関係者を優先

〔参加費〕 無料

〔参加申込〕 学会ホームページ (https://jsmcwm.or.jp/?page_id=) からお申込みください

〔プログラム〕

11:00～11:03	開会の挨拶（3分）	吉岡 敏明	（一社）廃棄物資源循環学会会長
11:03～11:23	プラスチック資源循環法の解説（20分）	平尾禎秀	環境省 リサイクル推進室長
11:23～11:43	ごみ焼却施設におけるCCUSの展望（20分）	田中朝都	日本環境衛生施設工業会技術委員長
11:43～12:03	循環型ケミカルリサイクルの展望（20分）	坂東健彦	三菱ケミカル（株）サーキュラーエコノミー推進本部事業開発部 部長
12:03～12:28	ディスカッション（25分）	酒井伸一	廃棄物資源循環学会理事（国際委員長）
12:28～12:30	閉会の挨拶（2分）	長田 守弘	廃棄物資源循環学会副会長